配布資料２

仙台版コミュニティ・スクールについて

１　仙台版コミュニティ・スクールの状況

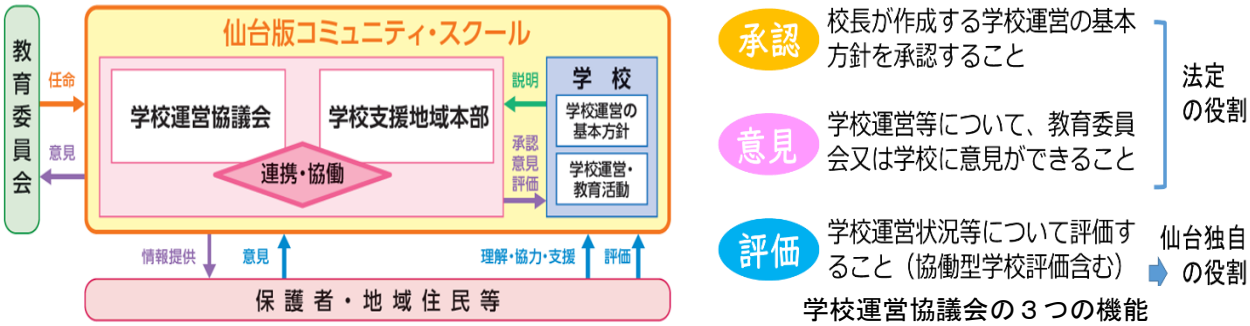
（１）コミュニティ・スクールとは

・保護者や地域住民が学校運営に参画できる学校運営協議会を設置した学校。

・地方教育行政の組織及び運営に関する法律により制度化され平成 29 年の法改正により設置が努力義務化されている。

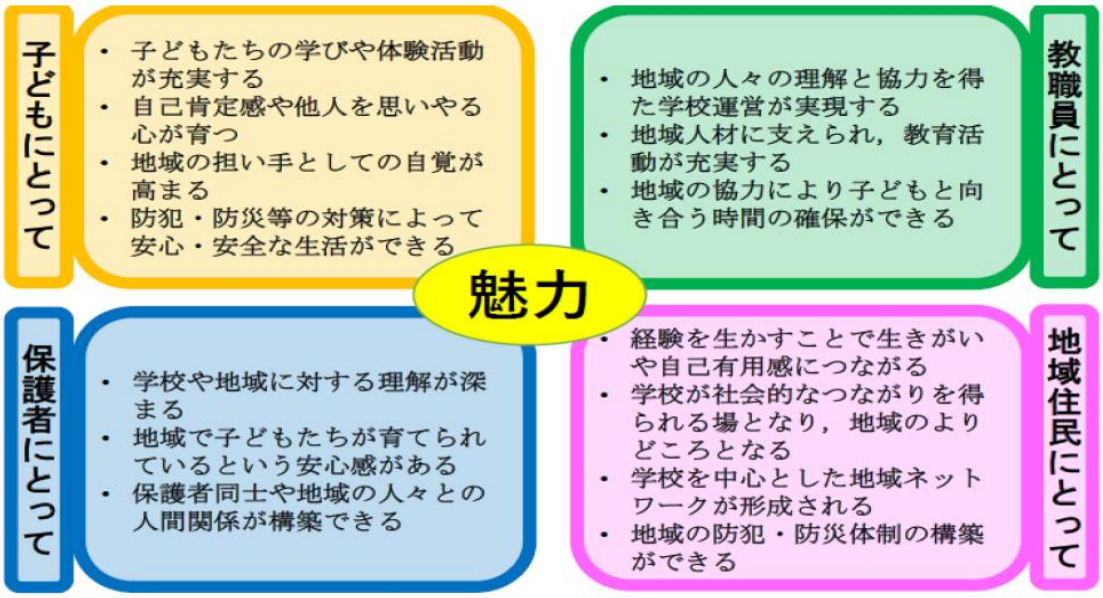
（２）仙台版コミュニティ・スクールの仕組み

・本市で進めてきた市民協働の取組を基盤とし、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる「学校支援地域本部」や、学校・保護者・地域が共通の目標のもと、それぞれの立場で子どもを育むために取り組む「協働型学校評価」の取組を生かして設置。



（３）目指す姿

学校・家庭・地域の三者が学校の基本方針や育成する子ども像などを共有し、双方向に連携・協働することで、子どもたちの豊かな教育環境を創り出すとともに「学校を核とした地域づくり」へつなげ、地域とともに歩む学校づくりを一層進めることを目指す。



（４）年間スケジュール（例）

【第１回】
・任命書の交付　　・会長，副会長の選出
・育成を目指す子ども像の確認
・年間活動計画の作成
・子どもたちの様子

【第３回】
・授業参観　・学校関係者評価（中間）
・熟議について検討
「テーマ」「準備内容」

12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月

【第２回】
・１年間の総括・反省等
・学校関係者評価（最終）
・次年度学校運営の基本方針の承認
・学校支援の計画作成

【第４回】
・授業参観　・学校関係者評価（中間）
・熟議（案）
「目指す子ども像について」

（５）学校運営協議会の設置・運営状況

①　導入経過

	令和２年度	令和３年度	令和４年度(1月)	令和４年度(3月)
学校数	１７	６９	１６６	１８９
協議会数	１２	５２	１３０	１５１

※すべての市立学校・園が令和４年度中に導入予定

②　設置形態（令和５年３月）

	単独	１小１中	２小１中	３小１中	合計
協議会数	１２１	２３	6	1	１５１

③　仙台版コミュニティ・スクール導入校へのアンケート結果

実施：令和４年７月　対象：設置校校長（96 校）

【「地域とともに歩む学校づくり」での有効性について】
・コミュニティ・スクールの「地域とともに歩む学校づくり」における有効性について約７割の校長が有効性を感じていると回答した。
・導入をきっかけに、コロナ禍により激減していた三者による活動の機会が得られたことや、協議等を通じて三者が共に豊かな教育環境を目指すことの有効性が感じらていることが伺える。
・CS 導入後の活動期間が長く、運営協議会の実施回数が多い学校で、導入後の変化を感じている傾向が見られる。

【自由記述より】
・家庭や地域の課題に対して、委員らが当事者意識を持って課題点の共有を図ることができるため、解決に向けた様々な取組が期待できると感じている。
・学校を支えてくださっている地域の諸団体間の取組が共有され、今後連携の充実や明確な役割分担が推進されるように感じている。
・共に協働し地域で子供を育てていこうという目的が明確になり、地域が今までよりも一層自分事として子供たちの豊かな成長を考える機運は高まっている。
・協議会の存在自体が心強い。一緒に考えてくれる仲間がいることが有難い。

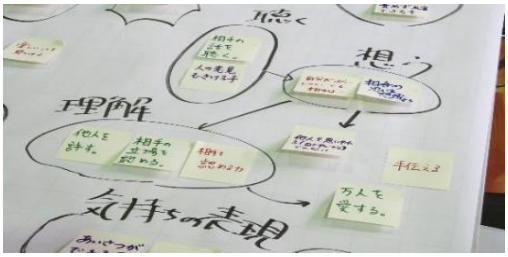
２　取組事例

（１）導入１年目の取組

福室小学校学校運営協議会

・学校運営協議会委員と教職員による熟議(どんな子どもに育ってほしいか)を実施。

・目指す子どもの姿の共有と顔の見える関係づくりを進めた。



鶴谷東小学校学校運営協議会

・学校運営協議会において教職員と協議会委員で協働型学校評価を実施。取組状況や達成状況を踏まえた次年度の重点目標を設定した。

（２）導入２年目以降の取組

生出小・中学校学校運営協議会

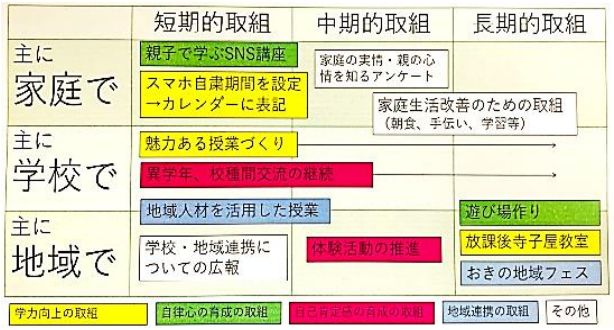
・学校と保護者・地域住民との熟議を経て、目標・ビジョンを共有。子どもたちがよりよく人とかかわる力を育むことを目標にした取組を行うこととした。

・市民センター、社会学級と連携したコミュニティガーデンの運営や仙台自分づくり教育「子どものまち」を実施。

おきの学園学校運営協議会　沖野小・沖野東小・沖野中

・熟議をもとに、コミュニティ・スクールとしての取組の計画を作成した。

・取組計画に基づき、小中連携による３校の教職員と学校運営協議会委員による合同委員会で課題の共有と取組に対する意見交換を行った。



愛子小学校学校運営協議会

・丁寧な土台づくりを進め愛子小「愛」を持つ組織を構成、目標は脱「学校任せ」とし、学校を地(域)から鼓舞「愛子のチカラコブ」を合言葉に活動。

・小学校の「あいさつ運動」を地域と協働して「あいさつキャンペーン」として実施。あいさつを一人にするごとシールが一枚もらえ、シールを貼って季節に応じた掲示物に。コミュニティ・スクールでの取組として定着している。

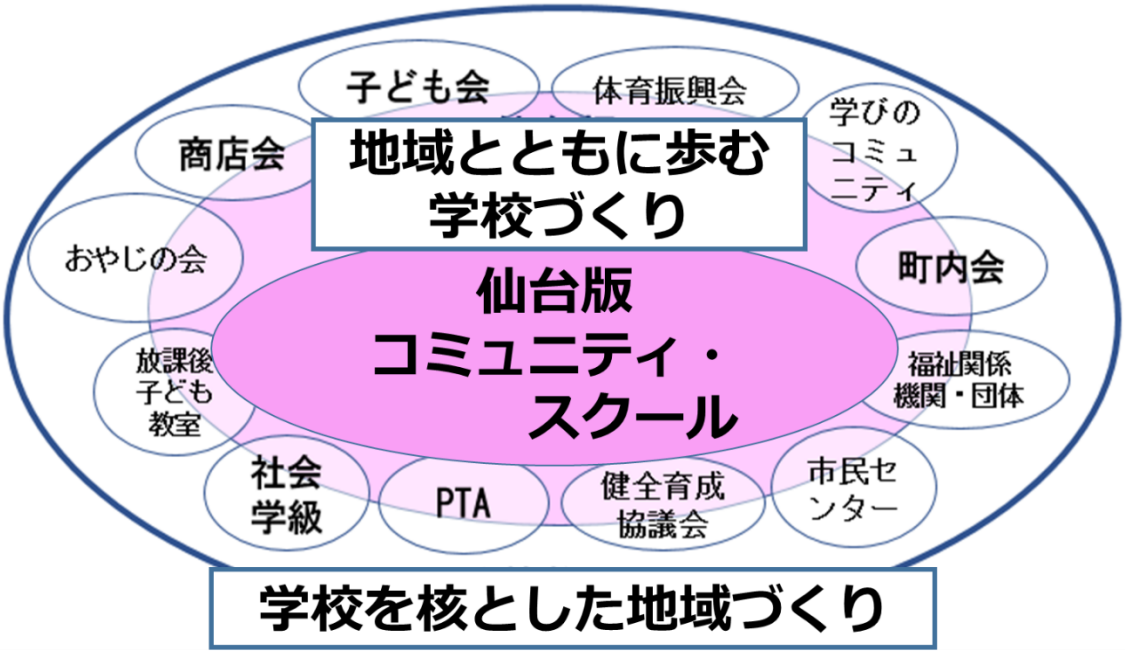
３　今後の取組

（１）想定される課題

・「学校運営協議会」の役割の理解促進
・持続的かつ効果的な運営方法
・「学校支援地域本部」の関わり方

運営に関する伴走的な支援が必要

（２）課題への対応

・事例等の収集
・好事例や成果・課題を周知するため、実態に応じた研修会・説明会を実施
・各校，運営協議会の実情に応じた支援
・各校の好事例を受け、運営していくうえで必要な内容をまとめた手引きを作成
・広く市民に意義や役割についての理解を図るため、フォーラム等を開催

（３）充実期のイメージ